

## 気候情報

### 2008年1月の日本の天候

- 気温は西日本と沖縄・奄美で高く、北日本では低かった
- 降水量は西日本で多く、北日本、東日本日本海側では少なかった

#### 1月の天気概況

低気圧や前線が本州南岸を短い周期で通過し、東・西日本の太平洋側では曇りや雨または雪の日が多かった。西日本では降水量も多かったが、南岸を通る低気圧はあまり発達せずに通過したため、東日本太平洋側では降水量は少なかった。月半ばには冬型の気圧配置が強まり、北日本と東日本を中心に寒気が南下した。しかし、日本海から北日本付近での低気圧の発達は少なく、また、東海上での発達も弱かった。このため、東日本日本海側と北日本では、降水量は少なく、特に北日本太平洋側では1946年以降第1位の少ない記録となった。

**上旬：**初めは冬型の気圧配置となり、西日本を中心に寒気が南下した。旬の中頃からは、日本付近を高気圧と低気圧が短い周期で通過したが、東日本以西では高気圧に覆われて晴れて暖かい日が多かった。沖縄地方では、高気圧に覆われたため、上旬後半から中旬初めにかけて夏日が続くなど顕著な高温となった。北日本では、旬の終わりに低気圧が通過後、寒気が南下した。

**中旬：**低気圧が短い周期で本州付近を通過したため、東・西日本の太平洋側を中心に曇りや雨または雪の日が多く、西日本を中心にまとまった雨が降り、西日本と沖縄・奄美では気温が高かった。一方、北日本では冬型の気圧配置が強まったため、気温が低く、日本海側では曇りや雪の日が多く、太平洋側では晴れの日が多かった。

**下旬：**低気圧が短い周期で日本海と本州南岸を通過したため、曇りや雨のまたは雪の日が多く、西日本太平洋側ではまとまった雨となった。沖縄・奄美では高気圧の南の縁となり、曇りや雨の日が続いた。旬の中ごろは北日本付近で低気圧が発達したため、北日本を中心に大荒れの天気となった。

#### 1月の気候統計

**月平均気温：**西日本で高く、沖縄・奄美ではかなり高かった。九州から沖縄では平年を1℃以上上回った

ところが多かった。一方、北日本では低く、東日本は平年並だった。

**月降水量：**西日本で多かった。一方、北日本太平洋側および東日本日本海側ではかなり少なかった。北日本日本海側は少なく、東日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

**月間日照時間：**北海道太平洋側を除いた北日本と、東日本から西日本にかけての太平洋側、および沖縄・奄美で少なかった。一方、北海道太平洋側では多く、東日本から西日本にかけての日本海側では平年並だった。

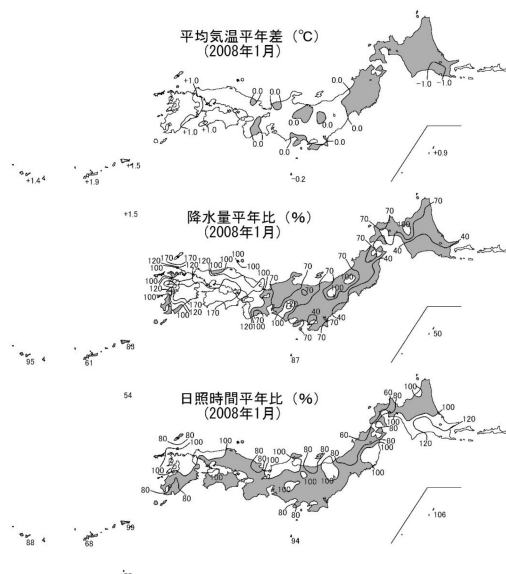
**降雪・積雪：**降雪の深さ月合計は、全国的に少なかった。また、月最深積雪は平年並または少ないところが多かった。

(気象庁観測部統計室)

#### 1月の記録(1位更新のみ)

- ・月降水量少ない方から (mm)
  - 金沢 133.5
- ・月間日照時間多い方から (時間)
  - 帯広 227.8 釧路 220.6
- ・月間日照時間少ない方から (時間)
  - むつ 46.2

#### 2008年1月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。